

The 48th Japan Pharmaceutical
Association Congress of Pharmacy
and Pharmaceutical Science

48th JPA
KAGOSHIMA

噴き上がれ! 湧き上がれ! 私たちの熱き思い
～地域に求められる薬剤師として～

第48回

日本薬剤師会学術大会

講演要旨集

会期 2015年11月22日(日)・23日(月・祝)

会場 鹿児島市民文化ホール・鹿児島サンロイヤルホテル・
宝山ホール・かごしま県民交流センター・
鹿児島県総合体育センター体育館・鴨池ドーム

主 催 公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人鹿児島県薬剤師会

分科会 8 命に寄り添う～「看取り」の現場で薬剤師ができること～

11月22日(日) 16:10～18:30 第8会場(かごしま県民交流センター 県民ホール)

W-08-01

薬剤師に必要な終末期の知識

ながお かずひろ
長尾 和宏
長尾クリニック

がんや認知症になっても住み慣れた地域で最期まで暮らすことができる“地域包括ケアシステム”の構築が謳われ、薬剤師を含む多職種連携が求められている。終末期医療における薬剤師の役割とは何か。さらに看取りにおける薬剤師の役割などについてお話をしたい。

演者は兵庫県尼崎市の下町で外来診療の合間に在宅診療も行う57歳の町医者である。これまでに800人以上、現在は年間100人近くを在宅で看取らせていただいている。その経験は「平穏死・10の条件」をはじめ、「平穏死」関連の一般書を数冊、専門書も2冊ほど書いているのでそちらも参照頂ければ幸いである。終末期とは何か、医療の“やめどき”とは誰がどう決めるのか、緩和ケアの肝とはなにか、看取りの法律の誤解などについて分かりやすく解説したい。自宅の在宅だけでなく施設での在宅を頼まれることも増え、訪問薬剤師さんの役割は大きくなる一方である。私たち在宅チームでも訪問薬剤師さんが大活躍している。日々彼女たちに助けて頂いていることに、この場をお借りして感謝申しあげる。